

会社概要 (平成27年9月30日現在)

会社の概要

商号 サンケン電気株式会社
(Sanken Electric Co., Ltd.)
本社 埼玉県新座市北野三丁目6番3号
設立年月日 昭和21年9月5日
資本金 20,896,789,680円

事業所

川越工場 埼玉県川越市下赤坂大野原677番地
TEL(049)266-8111
東京事務所 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル
TEL(03)3986-6151
大阪支店 大阪府大阪市北区梅田三丁目3番20号 明治安田生命大阪梅田ビル
TEL(06)6450-4400
営業所 札幌/仙台/名古屋/金沢/広島/九州

主なグループ企業

石川サンケン株式会社
山形サンケン株式会社
鹿島サンケン株式会社
福島サンケン株式会社
サンケンオプトプロダクツ株式会社

大連三壘電気有限公司
サンケン ノースアメリカ インク
アレグロ マイクロシステムズ エルエルシー
ポーラー セミコンダクター エルエルシー

サンケン パワー システムズ(ユークー)リミテッド
ピーティー サンケン インドネシア
韓国サンケン株式会社
三壘力達電気(江陰)有限公司

役員

取締役及び監査役

代表取締役社長 和田 節
取締役 太田 明
取締役 星野 雅夫
取締役 鈴木 善博
取締役 鈴木 和則
取締役 曹路地 剛
社外取締役 リチャードR.ルーリー
常任監査役 沖野 達夫
監査役 鈴木 昇
社外監査役(非常勤) 和田 幹彦
社外監査役(非常勤) 武田 仁

執行役員

専務執行役員 太田 明
常務執行役員 星野 雅夫
常務執行役員 鈴木 善博
上級執行役員 鈴木 和則
上級執行役員 大内 博之
上級執行役員 曹路地 剛
執行役員 佐々木正宏
執行役員 谷山之康
執行役員 村上 清
執行役員 伊藤 茂
執行役員 折戸 清規
執行役員 中道 秀機
執行役員 高荷 英雄
執行役員 金澤 正喜
執行役員 岩田 誠
執行役員 李 明潘

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会の基準日 毎年3月31日
剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

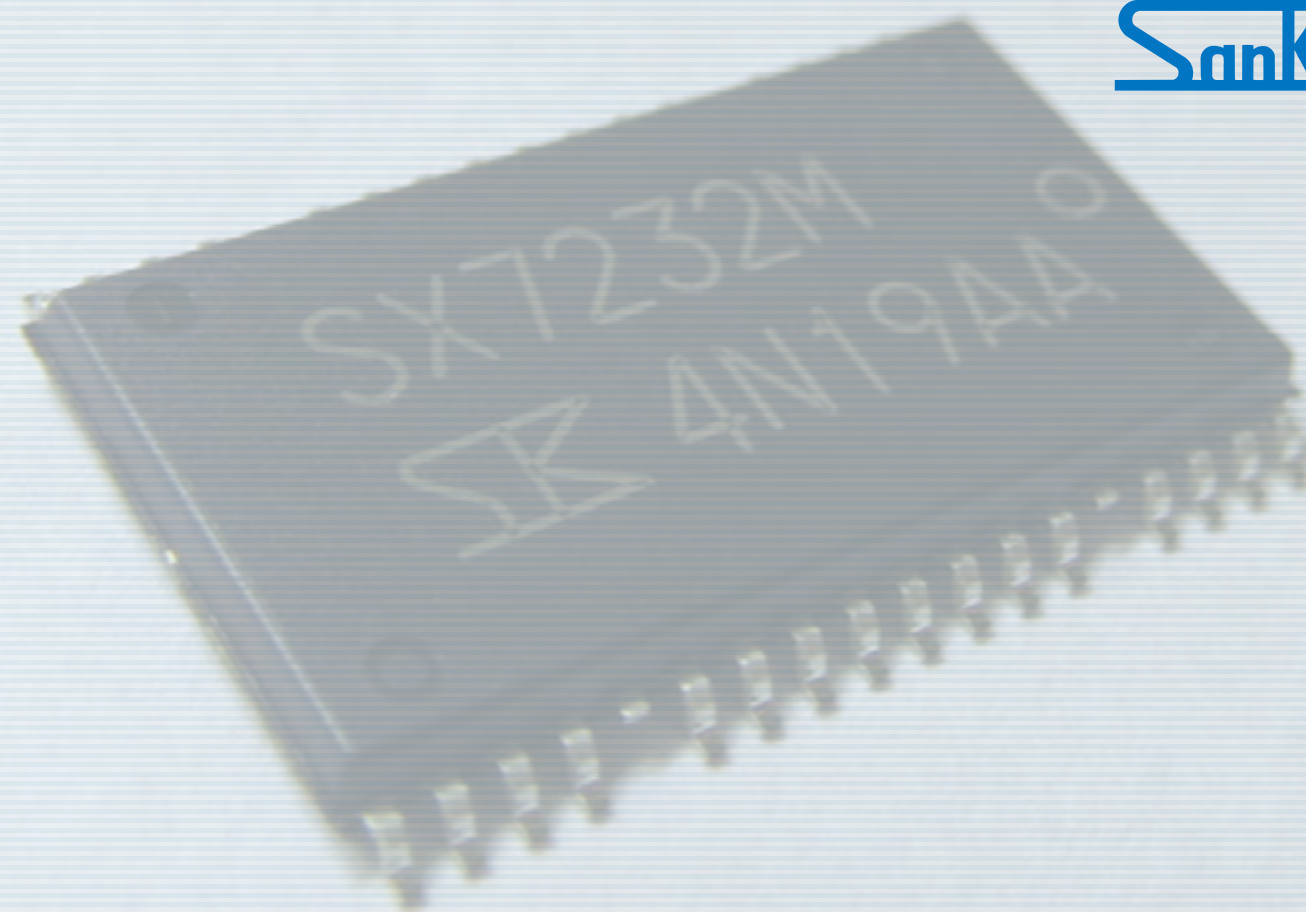
●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.sanken-ele.co.jp/>) を
ご確認ください。

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告
による公告をすることができない場合は、日本経済新聞
に掲載します。
公告掲載 URL
<http://www.sanken-ele.co.jp/koukoku/index.htm>

サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号
TEL(048)472-1111



Sanken Report

第99期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

サンケン電気株式会社

証券コード：6707

低圧ステッピングモータドライバ SX723xMシリーズ

従来の2～3Aレベルの出力電流を得る一般的なソリューションに対し大幅な小型化とコスト削減を可能にする低圧ステッピングモータドライバIC。MOSFET内蔵タイプでありながら放熱器なしで3Aの連続出力電流を供給可能で、ファンパッケージの低圧ステッピングモータドライバとしては業界トップクラスの大出力を実現しました。

中期経営計画初年度の目標達成に向けて 邁進してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。ここに第99期中間報告書(第2四半期：平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

業績について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では、「2015年中期経営計画」を本年4月1日よりスタートさせており、計画初年度2015年度の基本方針を「戦略市場への注力」と定め、車載、モーター、白物、産機、通信、新エネルギーなどのエコ・省エネ、グリーンエネルギー市場での「販売拡大」並びに「生産能力の拡充」に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体デバイス製品の販売は、産機市場向け製品が海外市場減速の影響を受けたほか、5月の新基幹システム運用開始に伴い一部顧客がリスク回避を念頭において納期前倒しを行ったことなどの影響もあり、為替レートが円安で推移したにもかかわらず前年同四半期に比べ微増にとどまりました。また、

PS製品では通信関係の民間設備投資の低調を補うべき新エネルギー市場向け製品が伸び悩み、結果として販売実績を大きく減少させました。それらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は773億28百万円と、前年同四半期に比べ79百万円(0.1%)減少いたしました。利益面では、売上高の減少に加え、新基幹システム関連経費の増加があったこと等が影響し、営業利益は29億37百万円と、前年同四半期比22億33百万円(43.2%)減少し、経常利益は15億25百万円と、前年同四半期比34億36百万円(69.3%)減、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9百万円と、前年同四半期比33億64百万円(96.8%)減となり、それぞれ前年同四半期比で大幅に減少いたしました。

これらを踏まえ、中間配当につきましては、1株当たり3円50銭とさせていただきたく存じます。

通期の見通し

引き続き当社グループでは、エコ・省エネ、グリーンエネルギーに関連する戦略市場に対し、複数のチャネルを用いた既存製品の販売強化ならびに最終市場のニーズを的確にとらえた新用途・新製品による積極的な販路拡大に取り組み、以って外部環境の変化を乗り越えてビジネス拡大に取り組みむとともに、新たな部材調達源の開拓や工程内作業手順の変更などにより製品原価の抜本的な改善を図り、さらには拡大傾向にあった固定費を一段と抑制するなど「損益分岐点経営」を強力に推進することにより、業績のさらなる拡大を図り2015年度の通期計画目標値の達成に向けた課題の解決に邁進してまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高1,620億円、営業利益80億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円と予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

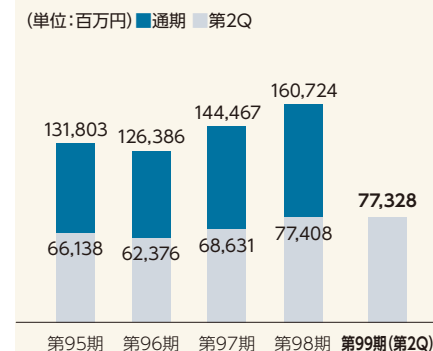
平成27年12月



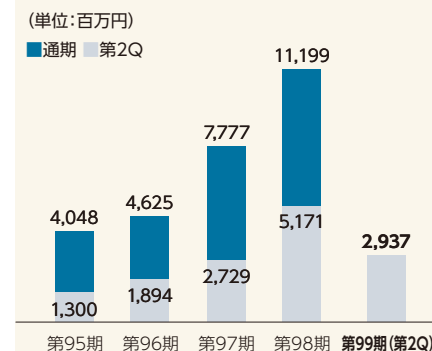
代表取締役社長
和田 節

連結財務ハイライト

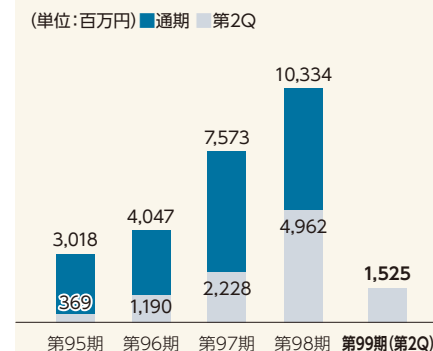
売上高



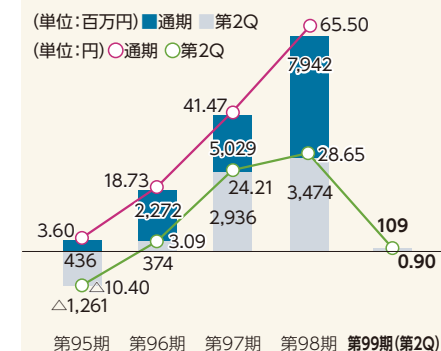
営業利益



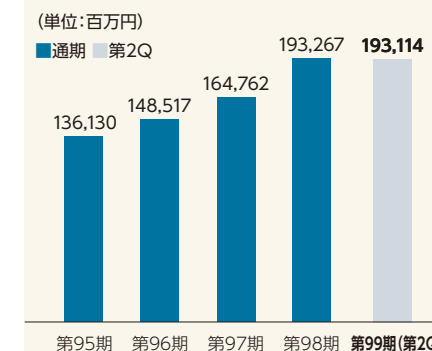
経常利益



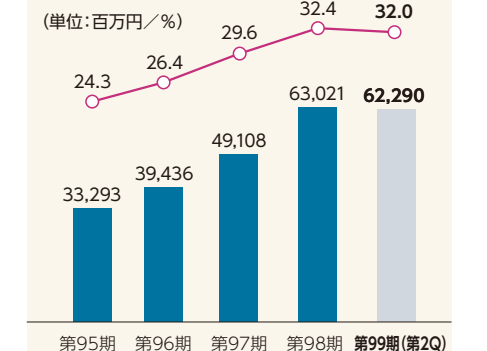
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産 自己資本比率



半導体デバイス事業

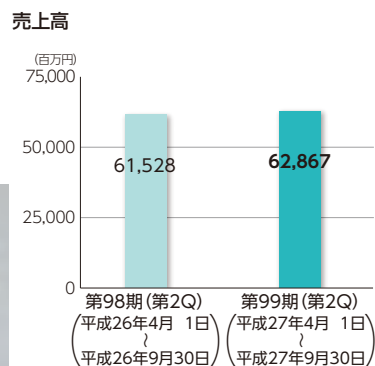
パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)

売上高 **62,867**百万円(前年同四半期比2.2%増加)

- ・自動車向け製品の販売は、前年同四半期と比べ2桁増。
- ・白物家電向け製品の販売も、前年同四半期比で相応の増加。
- ・産業機械向けやAV向け製品の販売が大きく減少。



低圧ステップモータドライバ IC SX723xM シリーズ

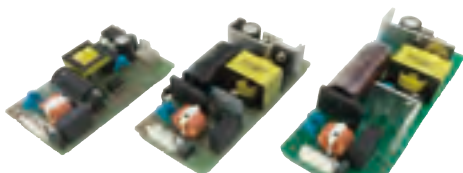


PM(パワーモジュール)事業

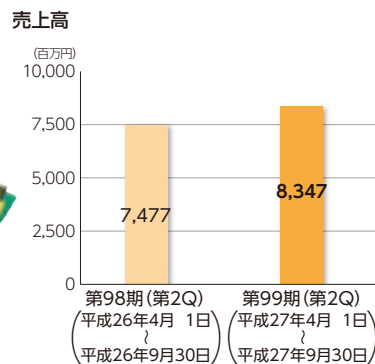
スイッチング電源、トランス

売上高 **8,347**百万円(前年同四半期比11.6%増加)

- ・オフィス用プリンター向け製品及び産業機械向け製品等の販売は、前期と同水準で推移。
- ・アダプター製品の売上は、大幅に拡大。



汎用小容量基板タイプ電源 CWBシリーズ



PS(パワーシステム)事業

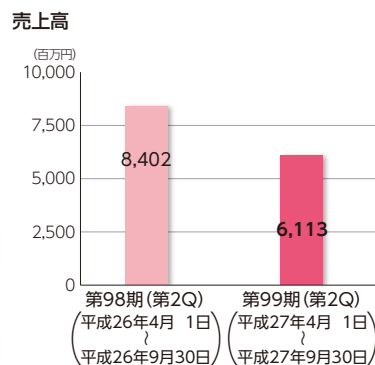
無停電電源装置(UPS)、直流電源装置、インバータ、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

売上高 **6,113**百万円(前年同四半期比27.2%減少)

- ・民間通信設備の大型投資が一巡したことに伴い、同市場に向けた製品の販売が大幅に減少。
- ・新エネルギー分野での製品販売の本格立上げが第3四半期以降へ延伸されたことなどから、売上は低調に推移。



公共・産業用リチウムイオン蓄電システム



風力・太陽光を利用したハイブリッドLED照明が 国立科学博物館・地球館に展示されました

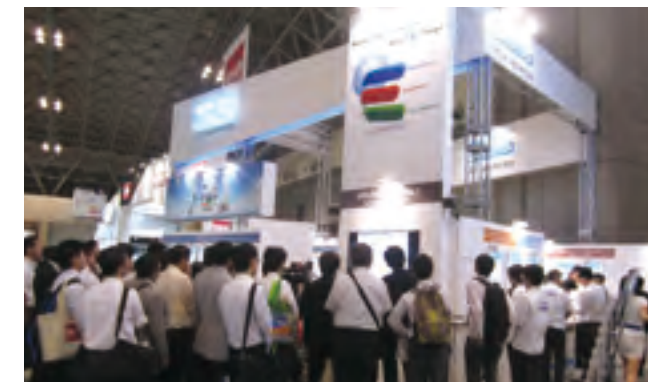
サンケン電気のハイブリッドLED照明が、7月にリニューアルした国立科学博物館の常設展である地球館における“地球史ナビゲーター・人間史”の中で、“いまと未来をつくる科学/技術”の一つとして選ばれ展示されました(本年7月より。本報告書発行日現在も展示中)。

ハイブリッドLED照明とは、「太陽光・風力による発電」(創エネ)と「無停電電源装置(UPS)による蓄電」(蓄エネ)と「省エネのLED照明」(省エネ)を組み合わせた屋外設置型照明ポールで、経済産業省の再生可能エネルギー等導入推進基金事業(「グリーンニューディール」基金制度)に適合した環境にやさしいLED照明器具として、また災害時には地域でのランドマークとなり近隣の住民の方々に安心と安全を提供する非常用LED照明として、開発いたしました。

当社は、今般の展示を機に、地球環境に貢献できる商品の提供を加速させてまいります。



TECHNO-FRONTIER2015 電源システム展に出展しました



サンケン電気は、5月20日～22日に幕張メッセで開催された「TECHNO-FRONTIER2015 電源システム展」に出展いたしました。

出展テーマは「Power Electronics for Next "E" Stage」とし、エコ・省エネとグリーンエネルギー事業の拡大をキーに、サンケン電気のパワーソリューション(テーマ展示)、技術プレゼンテーション、デジタルコントロール、次世代パワーデバイス、パワーマネージメント、モーターコントロール、カーエレクトロニクス、パワーモジュール、エネルギーマネージメントシステム、LEDライティング、合計10のソリューションゾーンを設け、最新技術の紹介と製品の展示を行い、多くの来訪者の方々に当社のテクノロジーソリューションを体感していただきました。

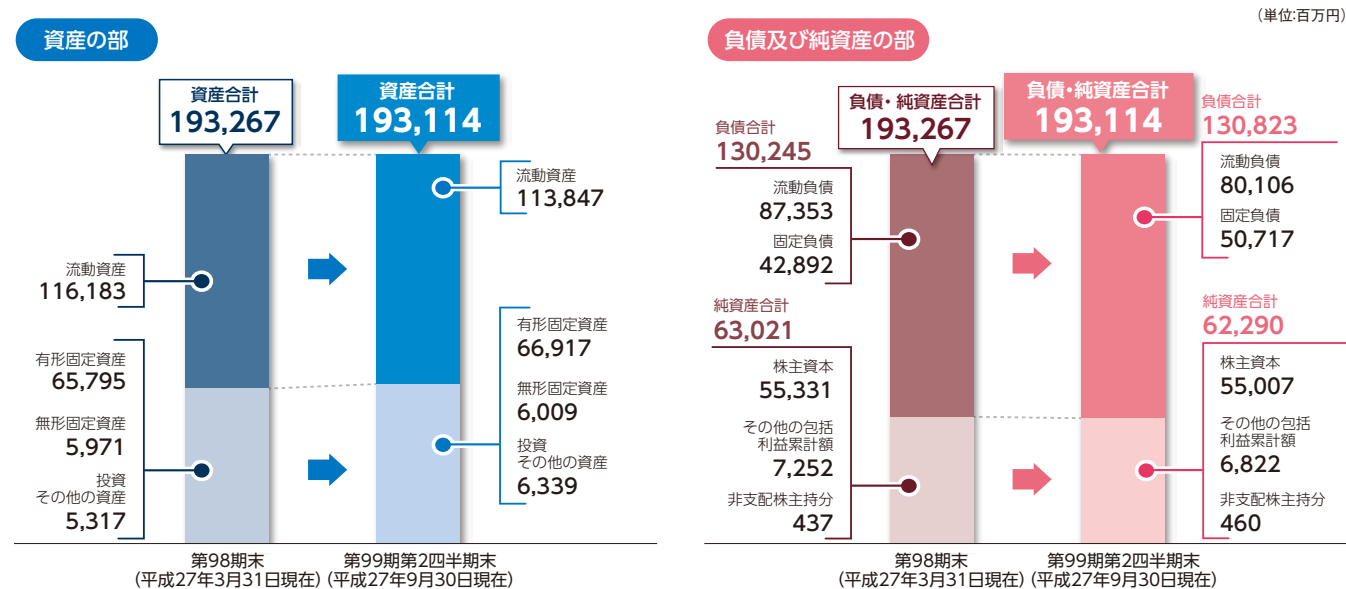


最新技術をプレゼンテーション

当社は、常に技術力と創造力の革新に努め、最先端のパワーソリューションを提供してまいります。

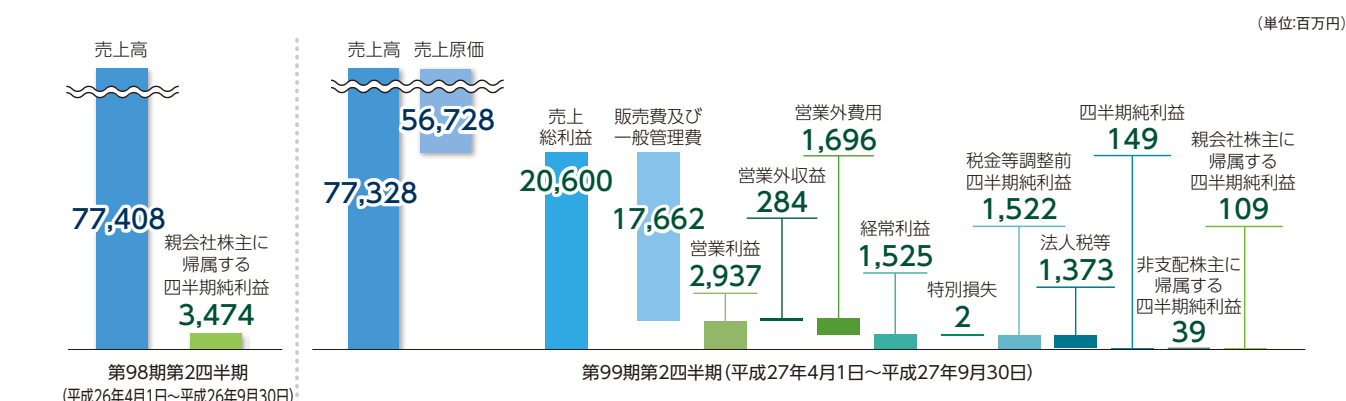


連結貸借対照表の概要



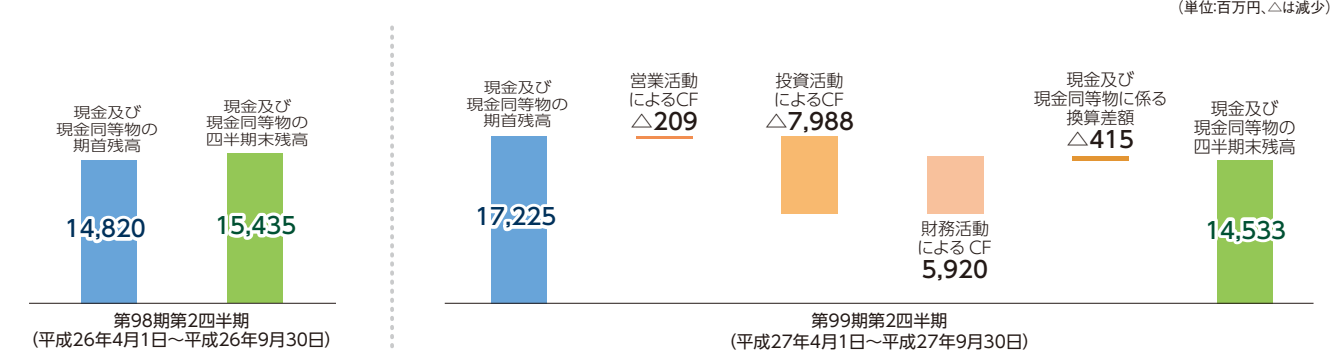
POINT 総資産は1億53百万円減少

連結損益計算書の概要



POINT 売上高は79百万円減少 営業利益は22億33百万円減少

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



株式の状況 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

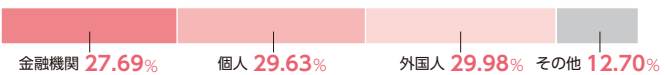
発行可能株式総数 257,000,000株
 発行済株式の総数 125,490,302株
 株主数 13,771名
 単元株式数 1,000株

大株主

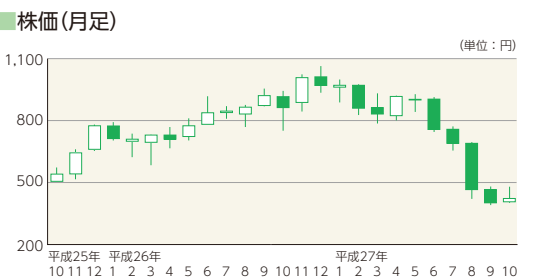
株主名	持株数	持株比率
株式会社増玉りそな銀行	6,011千株	4.95%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,791千株	4.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,300千株	4.37%
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	3,274千株	2.70%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	2,864千株	2.36%
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リフィデリティ ファンズ	2,712千株	2.23%
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	2,442千株	2.01%
ジュニパー	1,673千株	1.38%
株式会社八十二銀行	1,556千株	1.28%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,386千株	1.14%

(注) 1. 当社は自己株式を4,266,382株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

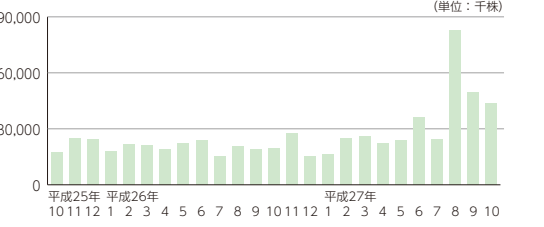
所有者別分布状況



株価の推移



月間出来高



所有株式数別分布状況

